

人助け部門

金賞

作品名

野良猫救出大作戦

応募者情報

表示名	野良猫保護施設
学年	上三宮小学校 4年生・6年生

作品の説明

制作背景

飼い主の身勝手で捨てられて野生化した猫を「野良猫」と言います。そしてなんの罪もない野良猫が交通事故や餓死してしまうことがあります。その数は2022年で年間11718匹以上です。1日で40匹以上が亡くなっていることになります。だから野良猫救出大作戦を作りました。

作品紹介

この作品は、上三宮地区にいる野良猫について、ホームページやチラシを通じて皆さんに知ってもらうことを目的としています。

アピールポイント

夏休みに野良猫がどこにいるのかを調べ、位置情報と猫の特徴をGoogleマップにまとめました。ホームページも先生たちに教えてもらいながら作成し、公開しています。チラシは手書きのイラストを写真に撮り、画像として貼り付けました。他のチラシを参考にレイアウトし、色味や文言なども自分たちで考えました。今後、野良猫の写真もGoogleマップに載せる予定です。

作品のURL

<https://kamsanmiya-elementary-school.github.io/noraneke/>

写真・資料など

WEBサイト

野良猫救出大作戦



このサイトは、野良猫を保護するために作られたサイトです。

野良猫の居場所

上三宮地域の野良猫を調べました。



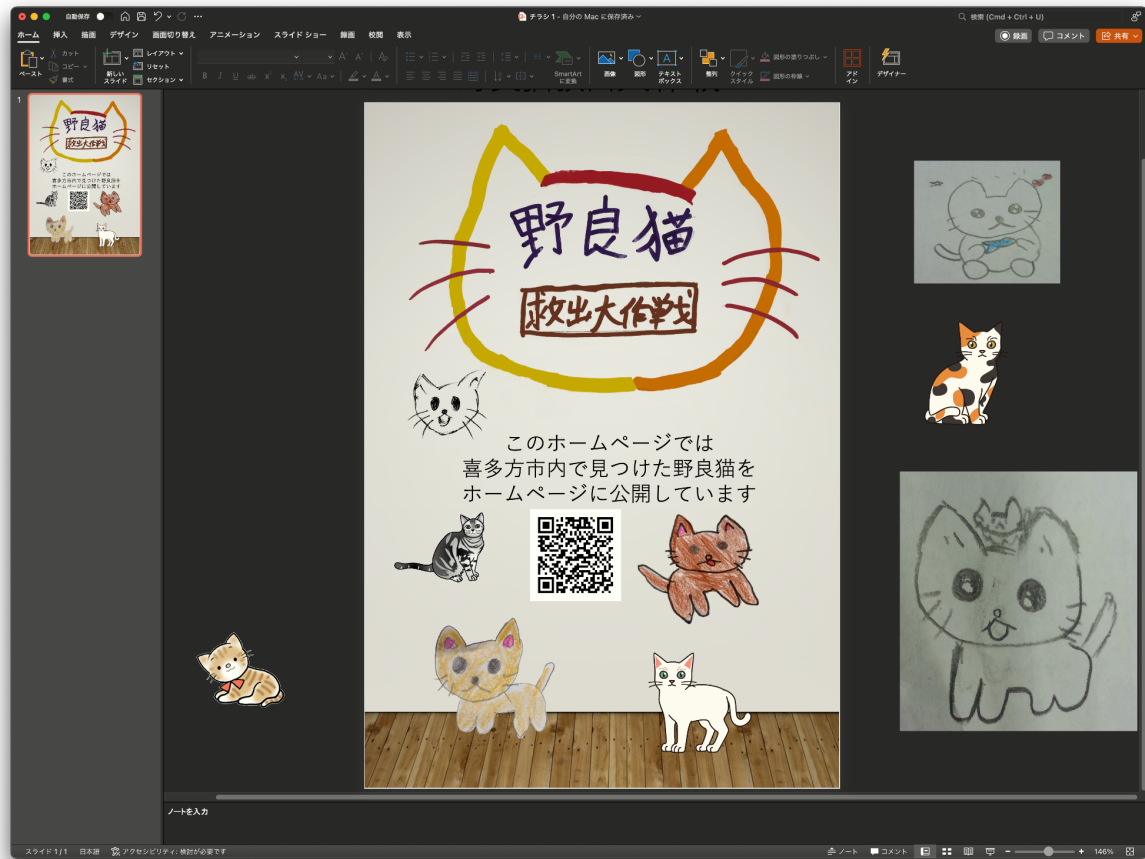
野良猫をみつけたらご連絡ください。

里親になってくれる方がいたら、上三宮小学校までご連絡ください。よろしくお願いします。



チラシ





審査員からのコメント

- 野良猫を守る手段として、デジタル(WEBサイト)と紙(チラシ)を作ろうとする発想がいいですね！さらにそれがQRコードで連携するのも素敵。今後、地図を誰もが更新できると、より多くの情報が集まると思います。
- PCはもちろんスマートフォンでもサイトがみれてすごい。手書きのイラストやGoogleMapが取り込まれているところもポイントが高い。ぜひ今後も更新して行ってほしいです。
- 漢字だらけのタイトルに昔の香港映画を連想しました。うちも保護猫を2匹飼っていますが、保健所で処分される犬猫のことを思うと胸が痛みます。本作品に込められたメッセージに共感します。
- 地域の野良猫を助けるためにITを使うという取り組み、感心しました。ぜひ続けていってください！野良猫情報が増えてきた場合には、整理方法の検討も必要ですね。今後機能追加する場合には、「目撃日時」や「写真」情報が掲載できる、利用者が直接投稿できる、新情報がマップ上で目立つようにする、などの利用者目線の機能検討をするとより使いやすくなるだろうと感じました。

- Googleマップの新しい使い方！素敵ですね！ねこちゃんの写真もアップできるといいなあとか、里親になる前に知っておくべきこととかも掲載してほしいなあ...なんて思いました。このサイトを中心に、たくさんの命を、域で救うことができる素敵な取り組みがはじめられそうですね！
- Googleマップを活用して情報を発信することは、便利・簡単で多くの人に知ってもらえると思います。多くの野良猫を救済でき、良い取り組みだと感じました。
- 野良猫を助けたい！という想いはすばらしいです。解決方法としてGoogleMapを使うというのも、これからの時代にとってもマッチしていると思います。猫の写真を表示したり、猫を識別する方法を追加したり、利用者が直接投稿できる仕組みがあったり、ホームページに他のコンテンツを設けたりすると、猫もみんなもハッピーになると思います。